

具体策の検討

【メインターゲット】

・メインターゲットを「札幌圏からの夫婦・カップル」とし、ニーズに合った具体策を検討。

【道の駅の対策】

1. 飲食・物販の強化

・まずは来館者の満足度を上げ、リピーターを増やし、集客増と将来的な観光消費額の増加を目指す。

*一般的に飲食・物販販売の重要な要素として以下があげられる。各項目について具体的な対策を検討する。

ア) 飲食

- (1) 提供メニュー
- (2) 価格
- (3) 営業時間
- (4) 商品の見せ方

イ) 物販

- (1) 販売商品の種類
- (2) 商品の見せ方
- (3) 販売面積

2. 情報発信の強化

・道の駅の訪問目的や充実してほしい機能として情報発信の強化が求められている。

・道の駅への観光客集客、道の駅から市内の観光地・飲食店等へ誘導するための方策を検討

ア) 道の駅へ集客するための方策

イ) 道の駅から市内観光地・飲食店へ移動するための方策

3. 1階ホール及び2階展示室の活用

・1階ホール（イスが必要か、事務用テーブルやイス・パーテーションが道の駅にあわない）

・2階の展示室（故障中の展示物やキッズスペースや展示室の活用を検討する）

4. 集客のための工夫の検討

ア) イベント開催（内容、実施者、提供する物等を検討する）

イ) 空間デザイン・レイアウト

ウ) 案内図設置（駐車場を入れてすぐに道の駅周辺の配置がわかりにくい、営業しているかどうか、どういう施設なのか、どういった飲食・物販があるのか不明）

エ) にぎわいの創出（開館・営業しているかどうかわからない）

オ) 閑散期の対策（6月や冬期の集客の方法）

カ) リピーターの確保

【エリア全体の対策】

- ・屋台村のあり方
- ・道の駅周辺施設との連携による更なる集客増の対策
- ・道の駅周辺施設及び市内観光施設並びに飲食店等を周遊してもらえよう企画づくり
～室蘭市全体の観光消費額の向上

1. 屋台村

- ・観光拠点としての飲食機能のあり方を検討
- ア) シャッター閉鎖状況の解消
イ) 道の駅との差別化や連携

2. 動線の見直し

- ア) 水族館と道の駅の距離感を縮める。
イ) 道の駅と屋台村の動線

3. その他

- ・観光客だけでなく市民の方も楽しむための方策を検討する
- *日陰や木陰、ベンチの設置し、休憩場所を確保する。
- *BBQ、ジンギスカン等が外でできるようにし、観光客はじめ、市民も集客していく。
～食材は道の駅で販売・提供する。
- *草刈、照明切れ、舗装割れなど維持管理

